

【 部門目標・評価 】**目 標**

1 医療安全文化を醸成するために事例検討会参加率や研修受講率を上げる。

【目標1】 院内の医療安全管理委員会は下記2つの条件をクリアする。

○初期研修医師の参加 8回以上/年 (義務付ける)

○委員会メンバー以外の事例検討時の参加人数 平均10人/回

【目標2】 研修受講率100%達成を目指す。

○全体研修会 2回 (6月 10月)

第1回 新型コロナの影響を踏まえeラーニングによる受講とする。

テーマ 「事故発生時の対応」

(医療安全管理者が指定した受講科目を視聴後確認テスト 所要時間10分程度)

第2回 状況を見て決定する。→ 新型コロナ収束せず第1回と同様にした。

テーマ 「ヒューマンエラー発生メカニズム」

(医療安全管理者が指定した受講科目を視聴後確認テスト 所要時間10分程度)

○(千葉県警よくし隊レディー「あおぼーし」による護身術の演習

2 事例検討の活性化を図る。

【目標1】 RCAやImSAFERなどの分析手法を使用し、事例検証の精度を上げる。

○SM会議のメンバーとともに医療安全室で事例検討を行う。(2回/年以上)

○発生部署のスタッフが、主体的に事例検討が行えるよう医療安全管理者が支援する。

(2回/年以上)

【目標2】 M&Mカンファレンスの開催時の効果的なマネジメントを行う。

○有意義な意見交換をするための事前準備(参加者のアンケートの回答により評価する)

・資料の確認

・ファシリテーターの選出

・全員参加型にするための工夫

評 価

1 医療安全文化を醸成するために事例検討会参加率や研修受講率を上げる。

目標1の初期研修医に対しては、事例検討会等の前に副院長から毎回メールを出し参加を呼びかけたものの、参加者は少なかった。修了書の発行など、参加意識の向上を図るための対策を講じる必要がある。また、今年度は、新型コロナ感染への対策のため、密を避けるために積極的な参加を促さなかったこともあり、委員以外のメンバーの参加が少なくなった。目標は達成しなかったが、次年度以降は感染対策を講じながらの開催のあり方を検討していく必要がある。

目標2の全体研修2回の平均受講率は、85%に留まった。特に2回目の研修について様子を見ている間に1月になりフォロー期間が短くなったことが起因していると思われた。「あおぼーし」による護身術の演習は、新型コロナ感染防止のため中止とした。

2 事例検討の活性化を図る

目標1については、毎週火曜日のカンファレンスの機会にRCAやImSAFERなどの分析手法を毎回使うことはなかったものの、積極的に事例分析をおこなった。また、発生部署のスタッフが主体的に事例検討を行えるよう医療安全管理者が病棟に出向き分析に積極的に参加した。

目標2については、M&Mカンファレンスを1回行なった。ZOOMでの参加者も含め90名程の参加者があり、活発な意見交換が行なわれた。

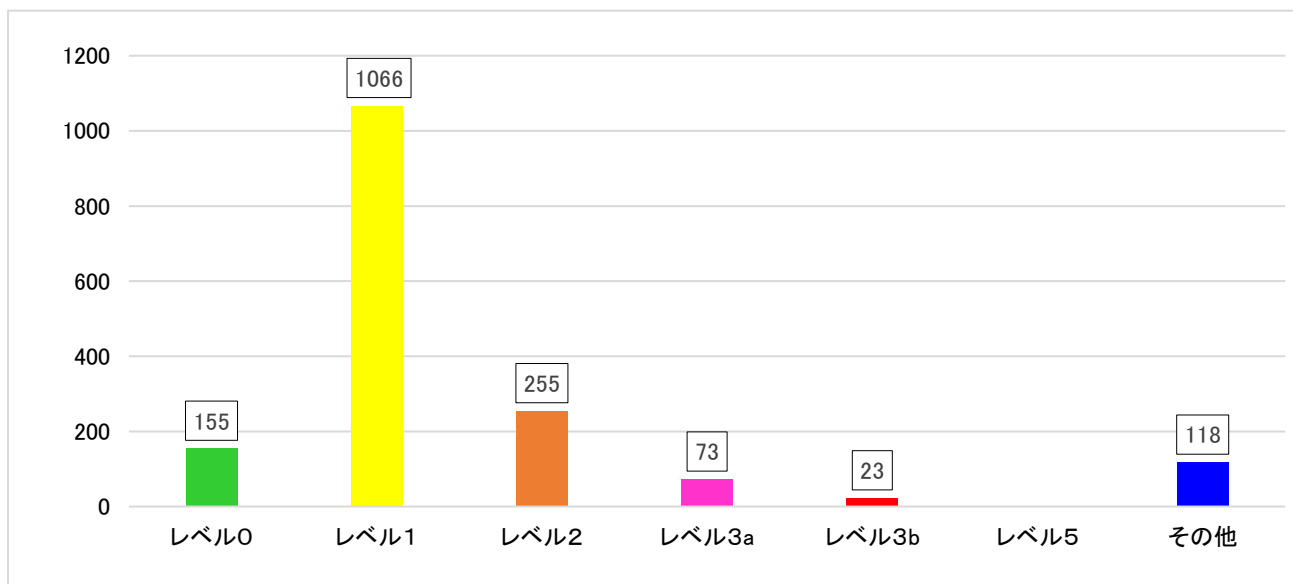
【 業務体制・スタッフ 】

役職名等	氏名	マネジメントに関する資格等	業務
医療安全室長	須田 峰子	医療安全管理者 認定看護管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・院内の医療安全管理体制の構築及び推進 ・医療安全室の専従職員の労務管理 人材育成
医療安全担当 副院長	金澤 正樹	医療安全管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・院内の医療安全管理体制の構築・推進 ・医師を対象とした医療安全管理の啓蒙 指導 ・M&Mカンファレンスの企画・運営
副医療安全室長 (専従)	窪田 眞弓	医療安全管理者 感染管理認定看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全対策の体制確保のための各部門 との調整 ・医療安全対策に係る体制を確保するた めの職員研修の企画・実施・評価 ・重大な事故発生時の院内の組織的な対応 ・訴訟等に関する弁護士・保険会社との調整
医療対話推進者 (専従)	牧野 巧	医療対話推進者 医療安全管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・患者や家族からの苦情および相談・暴言 暴力対応に関する研修の企画・運営
医薬品安全 管理責任者	小原 義巳	医療安全管理者 医薬品安全管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品安全使用のための研修の企画・運営 ・医薬品安全使用のために必要となる情報 の収集及び院内周知
医療機器安全 管理責任者	熊川 忠	臨床工学士 臨床検査技師	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器安全使用のための研修の企画 運営 ・医療機器の保守点検の適切な実施につ いての監査及び指導・情報収集及び周知
医療安全担当 事務	五十井 建		<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に関する会議・研修会の庶務

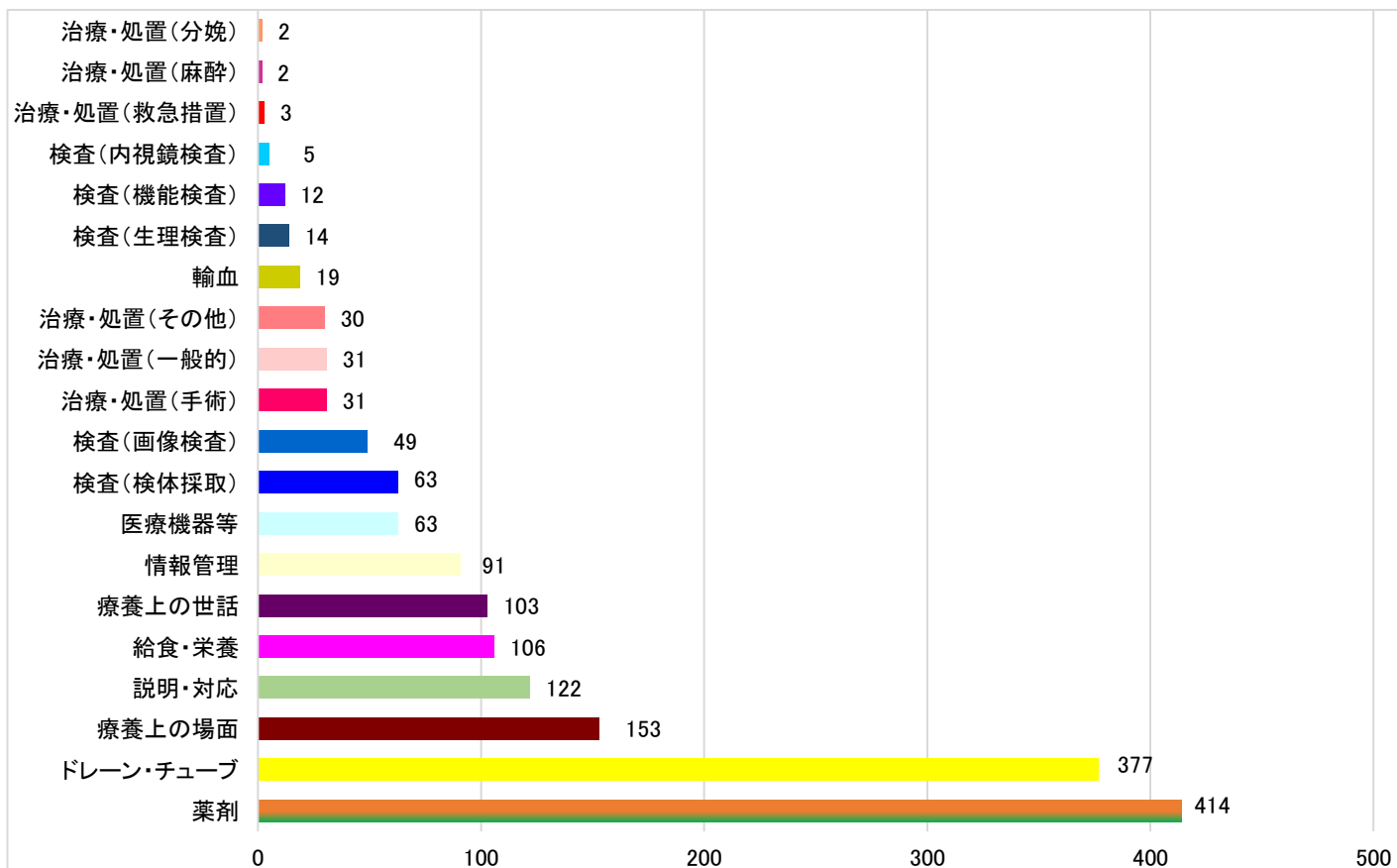
【業務実績】

〈インシデント報告数より〉

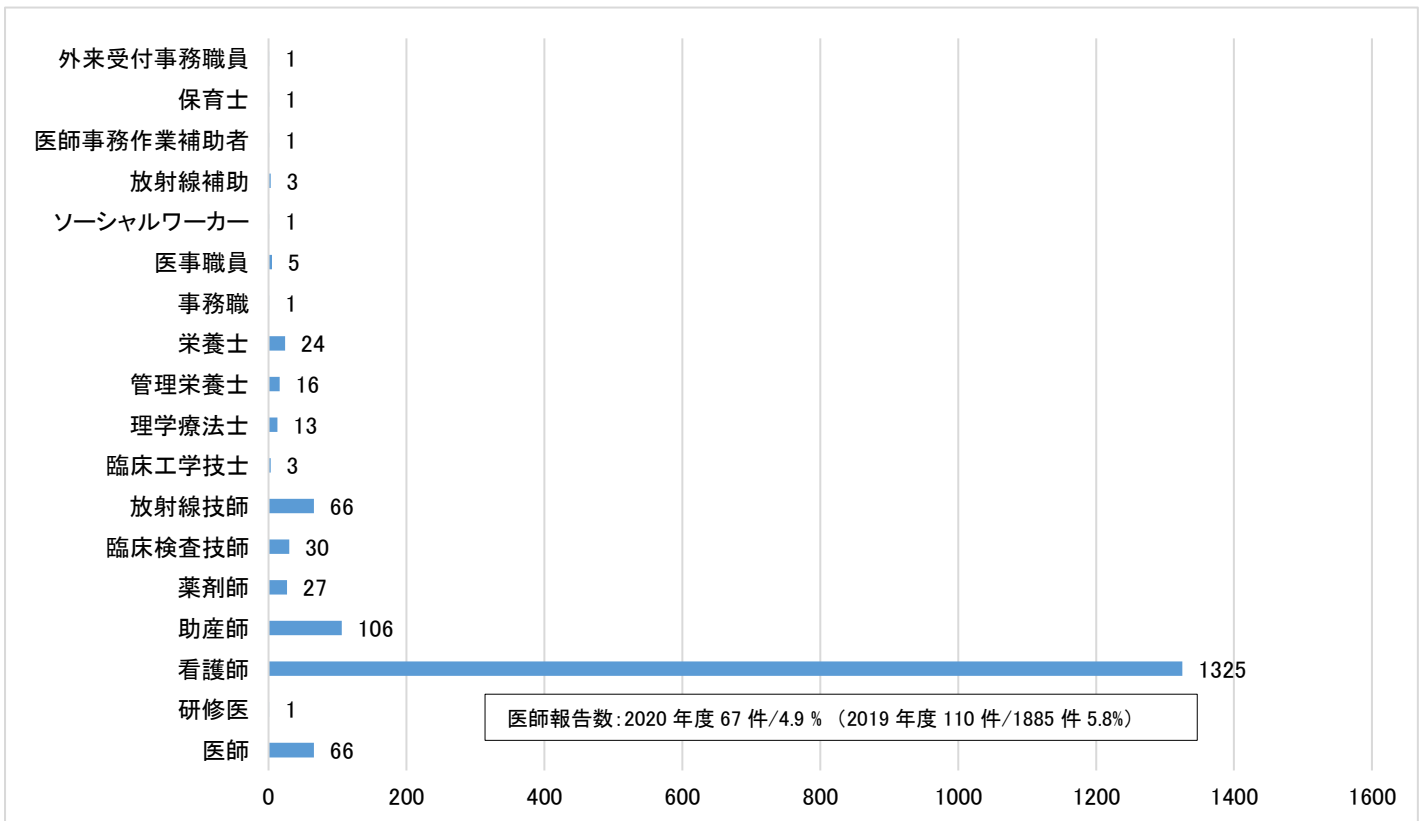
1. 報告総数：1690 件	インシデント（レベル3a以下）	1549 件
	アクシデント（レベル3b以上）	23 件
	その他（暴言・暴力、苦情、レベル不明など）	118 件



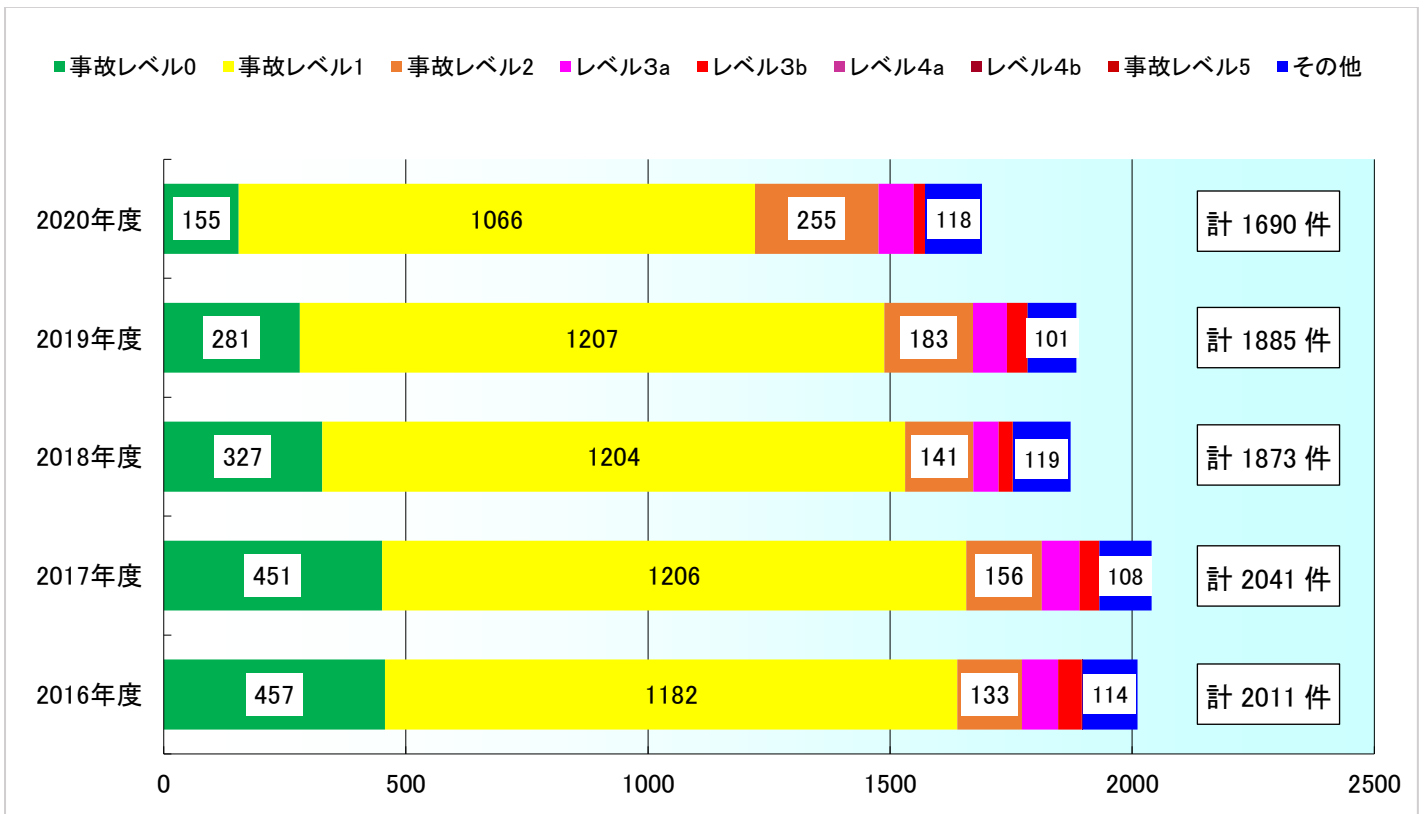
2. 報告内容別件数



3. 報告者別件数



4. レベル別報告数 年度別推移



【令和2年度 医療安全研修】

分類	テーマ	内容	開催月	対象者	受講者数
必須研修	第1回 医療安全研修会	e-ラーニング研修 事故発生時の対応： ①「スタッフケア」 ②「患者・家族への説明」 ③「現場保全」	6月	全体	435人
	第2回 医療安全研修会	e-ラーニング研修 ヒューマンエラー発生メカニズム	1月	全体	366人
医療安全 教育	新採用者オリエンテーション	医療安全の基本的な考え方	4月	新採用	
	中途採用者オリエンテーション	医療安全の基本的な考え方	5月	中途採用	
	医療安全ステップ1 (夜勤開始前)	夜勤において特に注意すること (先輩体験談)	4月	新採用者	10人
	医療安全の基本と危険予知トレーニング	医療安全について KYT の実際	6月	新人 看護師	10人
	ヒューマンエラー	ヒューマンエラーとヒューマンファクター	5月	看護師	12人
	患者確認	誤認防止の具体的方法	5月	看護師	12人
医療機器	難治性腹水症に対する 腹水濾過濃縮再静注法について	CART について方法・取扱の説明	10月	全体	29人
	輸液ポンプ初級	使用方法・取扱の説明	10月	全体	13人
	シリンジポンプ初級	使用方法・取扱の説明	1月	全体	7人
薬剤	第1回 医薬品の安全使用講習会	e-ラーニング研修 医薬品全般・新規採用薬の注意	3月	全体	93人
その他	心肺蘇生研修	BLS	随時	全体	全職員
		ICLS	2月 3月	全体	24人
	救急コール	e-ラーニング研修 CPR コールから MET コールへ	2月	全体	148人

【令和元年度 資格取得・更新研修受講】

受講研修	職種	取得人数	更新
医療安全管理者	看護師	1名	—
	医師	—	—
	薬剤師	—	—
	栄養士	1名	
医療対話推進者	看護師	—	—

【1年間の総括】

平成27年、心臓血管手術後の死亡例が相次ぎ、海浜病院の職員には大きな課題が突きつけられました。あれから5年、医療安全文化の醸成に職員一丸となって取り組んできました。

- 1 医療安全管理委員会の活性化（事例検討を重視）
- 2 インシデントレポートの積極的提出
- 3 医師の提出率UP 目標10%（通常5%程度あれば優秀らしい）
- 4 オカレンス項目の設定と手術バリエーション報告の徹底
- 5 死亡事例の全症報告
- 6 インフォームド・コンセントのガイドライン策定・改訂及び遵守
- 7 M&Mカンファレンスの開催
- 8 産科保障制度や医療事故調査制度の活用
- 9 研修への参加促進（受講率目標100%）

これらの取り組みの甲斐あって、令和2年3月16日に行われた第三者評価委員会で好評価をいただき、令和2年度から心臓血管外科手術を無事再開することができました。医療安全室は、心臓血管外科手術が行われるたび、ICUで働くスタッフとともに術後の患者さんの回復過程を見守ってきました。

この1年間は新型コロナとの闘いの日々でした。信頼関係を深めるためのさまざまな行事も、個人の行動も制限され、院内の空気が殺伐としていると感じることすらありました。会議や事例検討・研修のあり方が問われ、試行錯誤を繰り返しました。それでも、医療安全文化の醸成への取り組みは止むことなく、大きな医療事故を起こすことはありませんでした。医療安全に関わる全ての人々に感謝申し上げます。